



全力を尽くす。  
命のために、家族の願いのために。

# 孤高のメス

堤真一 夏川結衣 吉沢 悠 | 成宮寛貴 | 余貴美子 生瀬勝久 柄本 明

中越典子 松重 豊 徳井 優 本田大輔 隆 大介 安藤五恵 でんでん 矢島健一 平田 満

原作/大鐘稔彦「孤高のメス」幻冬舎文庫 脚本/加藤正人 監督/成島 出 イメージソング/馬場俊英「待ち合わせ」(ワーナーミュージック・ジャパン) tv asahi 100% (C) 2010「孤高のメス」製作委員会



「脳死肝移植」—— 信念がそのタブーに挑む  
現役医師が描く衝撃と感動の医療ヒューマンドラマ、完全映画化

6.5 (SAT) 全国公開  
www.kokouno-mes.com

# 医療現場の現実をあらわにしたベストセラー、衝撃と感動の映画化

## 消えゆく命を明日へと繋ぐ

100万部突破のベストセラー小説「孤高のメス」が完全映画化。1989年、ある地方の市民病院に外科医・当麻鉄彦が赴任する。見栄と体裁を気にかけ、簡単な外科手術ひとつまともに行われぬその腐敗した病院で、次々と困難なオペを成功させる当麻。彼の「目の前の患者を救いたい」という信念は、やがて病院を、そして人々を動かしていく。そんな中、病に倒れた市長が市民病院へ搬送されてくる。彼を助ける方法は唯一、脳死状態の少年から肝臓移植を受けること。しかし、それは日本の法律ではいまだ認められていない禁断のオペ。当麻は、患者や提供者を見守る家族たちの熱い想いに打たれ、最後の決断をする。ただ、そこにある命を救うため——。医療のあるべき姿とは？ 病院とは？ そして、命とは？ そこに真摯に向き合う一人の医師の信念が、今、深い感動を呼び起こす。

**「こんな医師がいて欲しい」  
その理想像を堤真一が体あたりで熱演。  
日本映画界の実力派が集結した  
珠玉の感動作。**

主演には、その安定した演技力で数々の映画、TV、舞台に出演する堤真一。そして共演陣は夏川結衣、吉沢悠、中越典子、成宮寛貴、余貴美子、生瀬勝久、柄本明などの豪華実力派俳優が集結した。監督には、『クライマーズ・ハイ』（脚本）、『フライ、ダディ、フライ』『ミッドナイトイーグル』（監督）等を手がけた俊英、成島出。原作は、自身が現役の医師という肩書きを持ち、誰よりも医療事情に精通している大鐘稔彦。実際に生体肝移植を執刀している医療チームの監修による、忠実に再現した手術シーンも見どころである。

twitter でつぶやこう！

本作のことを「#kokou」をつけてつぶやいて下さい。  
抽選で豪華プレゼントが当たります。詳しくは公式HPにて。

**様々な問題のある医療現場に求められる決断と行動。  
それに身をゆだねることしか出来ない患者とその家族。  
そして今、命が問われる。**

製作 / 中曽根千治 平城隆司 企画 / 遠藤茂行 梅澤道彦 プロデューサー / 天野和人 八木征志 医療監修 / 川崎誠治 (順天堂大学医学部肝臓外科) 音楽 / 安川午朗 アンソニエイトプロデューサー / 橋口一成 キャスティングプロデューサー / 福岡康裕  
ラインプロデューサー / 木次谷良助 撮影 / 藤澤順一 (J.S.C.) 美術 / 和田洋 (A.P.D.J.) 照明 / 上田なりゆき 録音 / 空園剛 装飾 / 湯澤幸夫 編集 / 大畑英亮 音響効果 / 伊藤瑞樹 スクリプター / 森直子 助監督 / 谷口正行 製作担当 / 石川貴博  
音楽プロデューサー / 津島玄一 劇中歌 / 都はるみ 「アンコ樺は恋の花」「好きになった人」(ロムビアミュージックエンタテインメント) 宣伝プロデューサー / 杉田真 金岡長広 配給統括 / 村松秀信 製作プロダクション / 東映東京撮影所  
製作 / 「孤高のメス」製作委員会 (東映 テレビ朝日 木下工務店 アミューズソフトエンタテインメント 東映ビデオ 読売新聞 知冬舎 博報堂 D.Y.メディアパートナーズ 朝日放送 メーテレ 東映チャンネル 北海道テレビ 九州朝日放送) 配給 / 東映

